

■ 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、広島県政クラブ、中国地方建設記者クラブ

「補強土壁の点検支援に関する技術」について 技術公募を行います

～現場ニーズ・行政ニーズに基づいた新技術活用促進の取り組み～

「補強土壁の点検支援に関する技術」の技術比較表※を作成するため、令和6年7月1日(木)から令和6年7月31日(水)までの期間において、「補強土壁の点検支援に関する技術」の要求性能(案)(リクワイヤメント(案))に関する意見募集を実施し、いただいたご意見を反映したリクワイヤメントを設定しました。

この度、設定したリクワイヤメント(別紙参照)に該当する「補強土壁の点検支援に関する技術」を令和6年12月23日(月)から令和7年1月31日(金)まで公募します。

※技術比較表：直轄工事等における現場ニーズ・行政ニーズ等に基づき技術テーマを設定し、技術に求める性能を明確にした上で、民間等から技術の公募を行い、現場実証等を経て、個々の技術の特徴を明確にした技術カタログです。

<公募内容>

- 対象技術 「補強土壁の点検支援に関する技術」
- 公募期間 令和6年12月23日(月)から令和7年1月31日(金)
- 実証機関 一般財団法人 土木研究センター 技術研究所
TEL : 029(864)2521 FAX : 029(864)2515
E-mail : netis-hokyodo@pwrc.or.jp
- 公募要領等 実証機関HP (<http://www.pwrc.or.jp/>) よりダウンロード

○意見募集結果および公募要領に関するお問い合わせは、実証機関までご連絡ください。

<問い合わせ先>

①技術公募全般について

中国地方整備局 082-221-9231 (代表)

企画部 施工企画課 課長

ましもと たかふみ 岸本 孝文 (内線 3451)

企画部 施工企画課 課長補佐

おがわ まさひろ 小川 雅博 (内線 3453)

②技術比較表について

国土交通省 03-5253-8111 (代表) 03-5253-8125 (直通)

大臣官房 技術調査課 課長補佐

おかもと ゆうじ 岡本 由仁 (内線 22343)

大臣官房 技術調査課 研究企画係長

しばた すぐる 柴田 俊 (内線 22346)

別紙 「補強土壁の点検支援に関する技術」リクワイヤメント概要

【趣旨】

2017年に「道路土工構造物点検要領」が制定され、補強土壁が含まれている高さ10m以上の盛土は特定土工点検として定期点検を行うことが示されている。

- ①補強土壁は高壁高や複雑な平面形状等により、近接目視による点検が困難な条件のものがあり、**近接目視と比較して合理化が可能となる点検支援技術** が望まれている。
- ②補強土壁は主要部材の盛土材や補強材が不可視であることを踏まえた**非破壊による点検方法や調査方法、経過観察の方法** が求められる。

【リクワイヤメント】

①壁面材個々の変位からなる補強土壁特有の外形の変化を線的または面的に把握できる技術

※壁面に大がかりな計測器等の設置が不要で、壁面材の個々の変位を計測し、下記の少なくとも1つの補強土壁の外形の初期値及び経時的な変化を線的または面的に計測結果として表示でき、かつ、近接目視に比べて合理化が可能な技術

- 1)植生された壁面の補強土壁
- 2)表面に凹凸の意匠があるパネルの補強土壁
- 3)壁高が10m以上の補強土壁
- 4)隅角部や曲線部を複数含む複雑な平面形状の補強土壁
- 5)補強土壁の前面に点検者が立ち入れない補強土壁
- 6)前面に障害物のある補強土壁

②補強土壁の内部状況(補強材、盛土材等)を把握できる技術

※非破壊を原則とし、下記の少なくとも1つの計測や状況・状態を把握できる技術

- 1)引抜き抵抗力の異常を検知
- 2)部材の応力の計測や応力分布を把握
- 3)表面から部材の状態を確認
- 4)表面から補強領域内における盛土の動き、それによるゆるみの位置や規模、分布等、又は盛土の状態(盛土材料、密度等)や分布を把握
- 5)表面から補強領域内の空洞の有無と規模を把握